

産官学協働女性活躍推進事業【大阪府】

地域の実情と課題

- 大阪府内における女性の就労状況・就業率
 - ・府内女性の就業率は、全国ワースト3位。
 - ・年齢別就業率では、30歳から59歳までの各年代別の女性の就業率が全国平均に比べ、それぞれ5%程度下回っており、いわゆる「M字カーブ」の谷が深い状況。
- 大阪府内における女性の活躍に関する課題
 - ・府民全般に対し、「仕事に就くことの意義」や「男性の家事育児への参加」などについて、意識啓発を進める必要がある。
 - ・結婚・出産に関わらず働き続けやすい職場環境づくり等を進める必要性について、企業経営者や人事担当者に対し、意識啓発をする必要がある。

目的・目標

- 事業の目的
「OSAKA女性活躍推進会議」と連携しながら、府民の意識啓発、企業経営者の意識改革などの取組を充実・強化し、あらゆる分野における女性の活躍推進を後押しする。
- 目標
女性の就業率が全国平均を上回ること
(平成27年度女性の就業率 全国: 48.08%、大阪府: 45.29%)

事業の特徴

- 「女性活躍推進プロモーション」の実施
ゲストによる「女性の活躍」、「女性の就業」、「男性の家事育児への参画」などをテーマとするトークイベントを実施
- 「OSAKA女性活躍推進ドーン de キラリフェスティバル 2017」の開催
ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)において、「OSAKA女性活躍推進間」(9月)に、2日間にわたり企業向けシンポジウムや、各種セミナー等を開催
- 女性活躍推進リーダー養成講座「輝(キラリ)塾」の開催
女性活躍に取り組む企業の裾野を広げるため、企業経営者、人事担当者等を対象としたセミナーを計7回開催

連携団体

- OSAKA女性活躍推進会議
(構成団体: 大阪商工会議所、大阪府、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団、大阪労働局、公益社団法人関西経済連合会、公益財団法人21世紀職業財団(関西事務所)、近畿経済産業局、日本労働組合総連合会大阪府連合会、特定非営利活動法人南大阪地域大学コンソーシアム)
- 大阪府男女共同参画推進ネットワーク
- 大阪府「女性活躍推進庁内連携会議」

事業の効果

- 女性の就業や男性の家事育児参加等について府民に意識啓発を行なうことで、女性の就業環境の改善が期待される。
- 企業経営者の意識改革を促すことで、女性が働きやすい職場環境の整備に取り組む事業所が増加することが期待される。
- 地域、農業、起業などで活躍する女性達が集まり、意見交換することであらゆる分野における女性活躍推進の輪が広がることが期待される。

今後の課題

- 大阪府の女性の就業率は、上昇率が全国に勝り全国との差は縮まりつつあるものの、全国45位であり依然として低い。
- これまでの企業への働きかけに加え、就業している若い世代や、就業前の生徒・学生をターゲットとした事業が必要。

事業の概要

●女性活躍推進プロモーション

朝原宣治さん、なるみさんをゲストにお招きし、「女性の活躍」、「女性の就業」、「男性の家事育児への参画」などをテーマとするトークイベントを開催。関心の薄い層への理解を深めるとともに、広く周知を図ることで、女性活躍推進の機運醸成を図った。

(平成29年9月1日実施)



●女性活躍推進リーダー養成講座「輝(キラリ)塾」

女性活躍に取り組む企業の裾野を広げるため、企業の経営者等を講師に迎え、女性活躍推進の取組事例等を紹介するセミナーを開催した。

(計7回実施)



●OSAKA女性活躍推進 ドーン de キラリ フェスティバル 2017

ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)において、「OSAKA女性活躍推進間」(9月)に、2日間にわたり実施。

企業向けシンポジウムをはじめ、OSAKA女性活躍推進会議構成団体によるセミナー、女性農業者や女性起業家等が出展する「キラリマルシェ」、さまざまな相談機関が一堂に会する「働く女性・働きたい女性のための「お悩み」相談会」などを、多彩なイベントを繰り広げた。

(平成29年9月1日・2日実施)

